

栄東まちづくり協議会・委員会議事録

日 時 平成 29 年 5 月 17 日（水）18：30～19：30

場 所 栄東まちづくり協議会・会議室

出席者 委員：辻本会長、田端・萩野下副会長（代理-深尾主査）、臼井、六角、酒井、前田、井上（代理-島田主事）、犬飼

監事：河田

● 定足数の確認

11 委員中 7 人の出席（その後 2 人出席）で規約第 11 条第 2 項の規定（在籍会員の過半数の出席）により有効に成立

● 資料

報告事項：

- 1 部会について
- 2 総合評価による入札の協議会の承認

議題：

- 1 議事録の扱い
- 2 委員会の定例化

● 議事内容

会長	それでは、本日は先月の 4 月 21 日の委員会で設置が決まった部会のその後の進捗状況の報告と議事録の扱い、委員会開催の定例化などについてお話をしていきたいと思います。よろしくお願いいたします。 まずは報告事項について、事務局、説明よろしくお願いします。
事務局	（報告事項を資料に基づき説明）
会長	ありがとうございました。 これらにつきましてご質問がありましたら、よろしくお願いいたします。
臼井	部会のメンバーの中の 3 番のにぎわい部会ですが、これに行政が入っていないというのは何か理由があるのでしょうか？
事務局	去年のまちづくりの会さんでやっていただいた時も行政は入ってなかったんですけども、これは、所管はあまり密接に関連するところが区内公所や本庁にはないのかなと。にぎわいと言っても非常に曖昧で関係部署を特定するのは難しいですし、これは地域主体でやれるところなのかなと思って入れておりません。
臼井	実際には、にぎわい部会というのは、当面は無線 LAN を設置になるだろうと思うんですけども、それにコンサルを含めてどういうふうにやっていただくかというのは、事務局としては NTT をある程度考えておられると思うけれども、実際にこの無線 LAN、Wi-Fi のシステムについて精通しているのは、この委員会のメンバーの中では、林事務局長ぐらいだろうと。本当に。 だから、その点から行くと、行政の方で話ができる人をサポートとして入れておいていただいた方がいいんじゃないかなという気がするんです。

事務局 ただ、例えば無線 LAN では、役所で技術的なサポートできるような部署があるかという、なかなかこれは難しいかと。

 じゃ、情報化推進課ですかね、そういうところがそこまでできるかという、それはなかなか僕の経験からいってもないと思う。

臼井 だから、少なくともそこまでの専門的な知識を私は今ここで要求している訳じゃなくて、専門的な知識は本当にその業者さんがいろいろ 2 社なり 3 社なりいろいろ説明してもらう。それを一通り聞いただけではなかなか理解はできない。言葉からまずわからん。やっぱりそれをやっぱり見ておいていただける人を委員会の中で行政の人も入っておいていただいた方がいいんじゃないかということです。

 要は、行政の人も連帯責任をとっていただけるような形で入っていただいた方がいいんじゃないかなというふうには思うんですが。

事務局 行政のご意見はどうでしょうか。

会長 深尾さん、どうでしょう。

深尾 例えば、無線 LAN について、今は市役所の中は、基本、無線 LAN は禁止なので、技術的に精通している部署というのはないと思います。にぎわい部会で何か事柄が発生してきて、部会に関連する部署を追加するようなことがあれば考慮する。当面は、部会で議論していくような事柄に関してすぐに関係している部署があるかと言われると思い当たらない。

臼井 だから、専門的な知識が欲しいと言っているわけじゃない、僕の提案はね。要は行政の人たちも、ここのにぎわい部会の中に入っておいていただいて、同じレベルで見ていただいて、なおかつ行政としての立場を意見として言っていたけるような状況を作っていたきたいと。専門的な知識を求めているわけじゃないので。

深尾 やっぱり、ここの地域・行政の位置づけになってくるんですけど、行政で、例えば、防犯・防災のところだったら、地域力推進室になってくる。これは業務として関わっている。そこを考えたものかなというのがあるんです。

臼井 だから、こちらから指定で受けていただくよりしょうがないかなというふうには思いますよ。

事務局 あと、にぎわい部会で今後イベント、夏祭りとか、イルミネーションイベントとかですね。あと、商店街の街灯の整備とか、そういう事業にも取り組んでいきます。当面は無線 LAN がありますけども、いろいろなにぎわいの事業をやっていくことになります。

深尾 防犯灯などは補助金を審査する立場として、地域力推進室でも事業もやっていますので、そうなった時にあらためて話ができたらというのもありと思います。

臼井 だからね、そういうことでいけば、地域力推進室のメンバーが入っていただけるということであれば、それは全然やぶさかじゃない。

深尾 今後のにぎわい部会の検討事項を踏まえて「入る、入らない」というのを少し検討させてもらいたい。

臼井 入る、入らないじゃなくて入ってほしい。

会長 そういうお願いがあったということで。

臼井 了解です。

深尾 おそらく、その今の商店街灯だとかの話からいくと、地域力推進室が入るのは多分一番いいとは思っているんですけど。

臼井 いやいや、それは認めているんだから、プラスどこかいいですかという話をしている。

酒井 多分、議題に応じて、呼びかけを地域力推進室でコントロールをしてもらう。関連部署があるかないかの見極めも含めてやってもらう。ここは出し入れ自由のフリーハンドだよということにしておく方が、特定の部署を決めておくよりいいかもしれない。にぎわい部会はそのような性質ですね。何が出るかわからないので、出た事案ごとに行政の意見を参考に聞かないといけないよねとなったら、区役所さんに呼びかけしてもらう、そのような形が一番いいと思います。

臼井 僕は基本的には部会には行政は入ってもらいたいわけです。最初から空き家でその都度入れますというフリーハンドではなく、地域力推進室が参加することがベースで例えば市民経済局や中土木事務所などが関わる可能性が出てくると思うので、そういうふうにしてもらいたい。

酒井 それは、区役所さん起点でということであれば。今日は室長ではないので、いったん持ち帰って室長の判断を仰ぐということになると思う。

会長 それでは、今のいろいろなお話の中では地域力推進室にお願いするということですけども、その出てきた事案によってその都度関係部署にお願いすることがあるということ、にぎわい部会のところの行政につきましては、検討いただくといういうことでお願いします。

報告事項につきまして、他に質問、ご意見はないでしょうか。なければ次に進めさせていただきます。

それでは、議題1の議事録の扱いに移ります。

では、議事録のことにつきましてお願いいたします。

事務局 「議題1 議事録の扱い(1)」ですが、すでにメールで皆さんに送ってチェックをいただいています。

具体的にはどうやってボイスレコーダーから文章にしているかというと、専門の方にデータを送って文章にしてもらっている。ただ専門と言っても内容の専門家ではないので、要約するとか、その場の雰囲気から補正をするということができず、聞き取れる範囲で忠実に文章にしていくことしかできない。総会の議事録についてもすでにメールで送っていますし、メールが届かない方には印刷して持って行って見てもらっている。今のところ修正意見は出ていません。今後も会議が増えてきますので、このやり方でいきたいという提案です。

(「1 議事の扱い(2) 議事録の署名方法」を資料に基づき説明)

臼井 議事録って、ああいう具合にかなり詳細に載せなきゃいけないもんですか？

会長 臼井さんの意見としては、もっと簡単でいいんじゃないかと？

臼井 できたらしていただいた方が。

会長 多分、私もこの前の総会がああいうふうになったものですから、あそこまでやろうということになったんじゃないかなというふうに想像するんですけども、ああいうことはあまり今後ないということならば、私も臼井さんの意見に同じです。

臼井 29年度の委員会・総会については、今回、最初にそういうふうに決められたんでやむを得ないというか、当然のことだと思うけど、30年以降、ちょっと皆さんで検討していただいて、簡略化できれば、そうしてもらえればありがたい。

事務局 議事録の作成のテクニカルな話ですが、実はどうやって文章ができていくかということ、例えば、何回か同じような発言があった時、どこかを省略するとか、まとめるとかは外部の方ではできない。技術的には本当に単純に文書にする。それをまた私が全部チェックして書き直していると、僕が書いた方が早かいということになっちゃうんですね。それじゃ事務が進まないということです。本来の議事録というのは正確に誰が何を発言したかということを書き残さないで書くということで、それを正式版として残してアップするというのが本来の姿なのかなと事務局は考えています。

臼井 じゃ、それで結構です。

会長 皆様、ご意見、そういう方向にまた戻ったような感じですけども、いかがでしょうか。

犬飼 要約できる人がいない、時間も無い、そういう能力が他にないということであれば、致し方ないところじゃないかなと思います。慣れてきて要約ができるようになれば、今後そういう方向に行けばいいかなと思いますけど、先ほど、臼井さんが言われた通り、今年度これでやってみるというのがよろしいんじゃないでしょうか。

会長 ありがとうございます。

事務局 実はこのボイスレコーダー、必ずしも正確に録音されているわけじゃないんですね。文章にされる方がここは聞き取れなかったと書いてくるんです。そこを私がもういっぺん聞いて、現場の雰囲気も含めて補正をして、それでもってできているんです。今回でも委員会と総会と両方でその作業に1日半くらいかかっているんです。要約筆記というのは言うは易し、実際には難しいということです。

会長 これで始まったんでもう少しこれでやらせていただくということで、半年か1年か、まずやらせていただくということでいいですね。じゃ、そういうことで議事録は今のような形、方式で作っていただくと。

会長 今度は議事録の署名方法、署名及び押印の扱いということでございますけども、そのへんもう少しご説明を。

事務局 なかなか一般的というのはないと思いますが、最近の民間も、僕もここに来て労働基

準監督署とか年金事務所に書類を出す時に、自著の場合はハンコ無しって多いですね、行政の届出文書においても。自著の場合、印なしというのは海外の事例も踏まえまして、多分、これが結構普及しているのかなというところがあります。役所の場合、なかなか印なしというのが認められないという現状の中で、パターン3になるのかなというところがあります。この協議会、100%役所の補助金で運営されているということで、色々な規定も役所に準じて作られているということがあって、パターン3もありなのかなというふうには理解しております。ただ、どれをとったから不都合があるかという、そういうことはないので、僕は決め事だけなのかなという理解はしております。

臼井 そう思いますよね。パターン3の方がいいんじゃないですか。民間も相変わらずパターン3が多いですよ。

会長 印字で押印なしというのは無いんですか？

事務局 それは公証力、証明力がないと言われちゃいますね。

酒井 ちなみに、港のまちづくり協議会はパターン2ですね。

会長 はい。じゃ、採決にしましょうか。ご意見が出てないなら。
じゃあ、パターン2と3で採決とりますね。
パターン2の自著、印なしというのが良いと思われる方、挙手、お願いいたします。
(挙手なし。)
それでは、パターン3の自著、押印が良いという方、挙手お願いします。
(挙手6人。)

会長 ゼロ、6ですね。

事務局 今日は、現在、出席数9人、議長を除いて8人、8分の6です。過半数で決議も有効です。

会長 ということでパターン3に決定させていただきます。よろしくお願い致します。
それでは、1の(3)に入っていただきたいと思います。
よろしくお願い致します。

事務局 それでは、議事録の確認とウェブサイトの掲載ということでございます。
3の①は、新年度から新ルールということで、忠実に書くとか、署名の制度を導入したのは、この4月以降でございます。28年度、数回、委員会・総会もやっており、議事録も事務局には保管をしておりますけれども、「これに今から署名をしろ」というのは酷な話でございますし、もう役にない方もみえますので。じゃ、これをどうしたものかなということです。私の意見としまして、28年度分は事務局保管ということで、いつでも閲覧できる状況にしておいて、積極的にウェブサイトに公開するのは29年度からというふうにしたいという提案です。

それから、②は、署名のページ、先ほどの議論で自著して押印していただく。それについてもアップしちゃうのかということなんですけども、役所の情報公開のあり方からすると、署名は個人情報ですし、押印も個人情報ですので、実際この部分は出せないということになってくる。そうなりますと、ワードで議事録を作りまして、それを機械的にPDFに変換したものは内容的には合っているわけですから、承認得たものとして、それをウェブサイトにアップしていくということとする。正本をイメージスキャンしたものをアップしていくというのは、現実的には個人情報保護の観点から難しいということ

で、案1で今後進めていきたいという提案でございます。

- 会長 28年度につきましては、これは保存しておくということでよろしいでしょうか？
(異議なし)
皆さん異議なしということで、有り難うございました。
2番目のウェブサイトの取り扱いですけれども、署名欄は掲載しないということで、異議なしということでよろしいでしょうか？
(異議なし。)
- それでは、議題2の委員会開催の定例化についてお願い致します。
- 事務局 当協議会は、去年は委員会の開催は定例していませんでした。港まちづくり協議会は毎月やってみえると伺っています。これからは毎月第何の何曜日というように原則決めておいて、議会の日程とか予算の審議とか特別なことがあれば適宜変更していく。それで、部会の進捗などを報告したり、承認したりするという形にしたいという提案です。
港は決め事はあるんですか。
- 酒井 決め事はなくて、会議の終了時にみんなで手帳を見ながら第何週の何曜日と決めている。というのは決めておいても地域の特定の行事でたくさん出られないことがあって、なかなかそのとおりいかない。毎回、終了時に事業の進捗を見ながらいつにしましょうと決めている。
- 事務局 夜ですか。
- 酒井 夜です。夕方6時半スタートで8時過ぎちょっとまで。
- 会長 原則決めておいた方がいいという考えと、その都度決めるという考えがありますが。
- 酒井 これは地域の事情で決められたほうがいいと思います。
- 事務局 この地域では構成団体の女子大ビル協会が第1か第2火曜日、発展会は第3木曜日と伺っている。
- 会長 私も見てみたら町内会はばらばらでした。ちなみに今日は第3水曜日で、これで原則決めておくとか。
- 田端 発展会と連続になる。
- 臼井 これから始まる夏祭りの全体会議も水曜日が多い。第2木曜日ならいいのではないかな。
- 会長 それでは、とりあえずということで、第2木曜日に決めさせていただきまして、「来月はいかがでしょうか？」と言った時に、「それはまずい」ということだったら、また協議するということがよくお願いいたします。
じゃあ、早速、来月の委員会は、第2木曜日、8日6時半から行うということでお願いいたします。
予定の議事につきましてはご協議いただいたんですけども、他にその他ご意見は何かありましたら、よろしくお願いします。

臼井 今日初めてこれを見せてもらったんですが、この交付金の補助金の交付決定通知書。下段の防犯事業から地域活性化事業までの約 3,000 万弱の数字が、これはやっぱりきちんと事業を推進するという事を出して認められなきゃ出ないということだろうと思うんですけども、なかなかやっぱりハードルが高いですか？

事務局 いや、皆さん方で一生懸命、部会で議論していただいて、地域一丸となってやっていくということにしていいただければ、これはむしろかしいことだと私どもは考えておりません。皆さんのご協力が要るということ。皆さんも知恵を出し、汗を出していただくという覚悟と努力が要るというふうに、私はこの場で言わせていただきます。

会長 そう思いますので、是非、ご指導ください。

事務局 事務局から、今日、最後に名簿をつけております。
25 日付で河田さんが監事に就任されたということと、栄レジャービル協会が栄東女子大小路ビル協会に名前が変わったという部分で変更しております。それ以外は変わっておりません。よろしくお願いします。

会長 あと、議事録署名人は、行政側から前田委員、地域からは臼井委員、よろしくお願いします。

ありがとうございます。それでは、以上で今回の委員会を終わりたいと思います。どうも、ありがとうございました。

(終了)